

## 第13回道央技術士協議会を開催

北海道技術士センター会員の皆様におかれましては、ご健勝でご活躍のこととお喜び申し上げます。

昨今、問題となっている米国のBSE感染牛、鳥インフルエンザウイルス、遺伝子組み換え作物、大量の抗生物質投与が問題視されている養殖魚、更には食品不正表示など我々の食生活そのものがかなり危ない環境にあります。このようなことから、最近政府は食の安全や食生活を通して健康増進を図る「食育」基本法案大綱なるものを議員立法で提出するなど今後一連の施策が立てられることと考えられます。食糧基地北海道としても更に地産地消を勢力的に推し進める時期が来た感があります。

さて、去る平成16年3月26日道央協議会を開催しましたので、ご報告致します。

今回は苫小牧市内での開催となり、参加人数も10名程度といつもより少人数の開催となりました。今年新しく入会された方、一年ぶりにお会いした方などありますが、少人数ながら工場見学から情報交換会まで有意義な時間を過ごすことができたと思います。

## 【参加者名簿】

伊藤 優子 (株)タナカコンサルタント  
 栗山 昌樹 苫小牧市役所 下水道部 計画課  
 小針 憲司 (株)メイセイ・エンジニアリング  
 渡部 富治 室蘭テクノセンター  
 星 伸一 苫小牧熱供給(株)  
 伏見 行弘 五晃建設(株)  
 遠藤 清武 アルファ計画(株)  
 長谷川哲也 (有)イーシステム  
 吉迫 勝意 北洋コンサルタント(株)  
 小島 尚三 道建コンサルタント(株)  
 湯浅八八老 苫小牧市 下水道部

## 【行事】

15:00～16:30 王子製紙(株)苫小牧工場施設見学

18:00～20:00 レクチャーと情報交換

それぞれについて、以下概略を報告します。

施設見学会；当日は、施設見学に先立ち、会社についての沿革や施設規模等の概要説明があった。1893年会社設立、1910年支笏湖からの水利権を得て操業開始、今年で94年になるとのこと。技術革新により当工場で勤務する社員数も4,300名から今では730名で操業し、世界最速のN-6マシン投入(1998年)により新聞用紙他で年産118万トンの生産規模を誇っている。特徴的なのは、循環型産業の高度化を目指し

- 1) 紙のリサイクルとして、木材と新聞古紙の割合を4:6とし、ゴミ減量化や3回のリサイクルパルプを5回まで有効活用している。
- 2) 森のリサイクルとして、木を植える→育てる→チップにするの工程で、2010年20万ヘクタールの海外植林計画を推進している。

また、同社ではエネルギー対策推進事業の中でゴミ減量化を兼ねて燃料として、旅館から出る割り箸も利用しているとのことである。紙の消費量がその国の文化の程度を著すと言われますが、CO<sub>2</sub>、ゴミ、水等環境対策を抜きにした企業活動が考えられない事の一例を見せて頂きました。

この後、場所を変えての情報交換会となりますが、少々時間があり苫小牧市の青少年科学館にお邪魔をし、世界でここにしかないという旧ソ連の宇宙船ミールを見学する機会を得た。この宇宙船は、当時2台制作された内の予備機としての1台で、日本はもとより世界各国からも見学に見えるとのことで、是非一度技術の粋に触れられることをお奨めします。

**【情報交換会】**

場所を市内のグランドホテルニュー王子に移し、開催しました。例年ですと、センター事務局から来て頂いて、話題提供と言うことでお話をして貰っていましたが、今年9月の全国大会開催に向けて業務多忙のため出席出来ないとのことで、幹事の方から以下の資料を基に概要説明をしました。

- 1) 平成15年度第2回支部役員会・第2回センター理事会 合同会議報告
- 2) 平成15年度技術士第一次試験結果について
- 3) 平成15年度技術士第二次試験結果について

次に、渡部富治技術士からは、「環境水の浄化」についてと題してレクチャーして頂いた。

要旨は、湿性植物が棲息する水辺に風動力の水循環を取り込み、植物による浄化能力を高める、とするものである。池などの閉鎖系水域で腐敗物が沈積する水辺は酸素不足になりやすく、この様な所で、水面と水底との間で循環流を作り、水辺環境を改善するという考え方である。既に、群馬県館林市城沼で風力ポンプを設置し、平成16年1月現在7カ月程のフィールドテスト中で、良質水草が復活するなど

の浄化効果が認められつつある、とのこと。どなたか興味のある方は、一度渡部技術士に問い合わせ見て下さい。

以上で予定の行事も終了し、再会を祈り散会致しました。



情報交換会の様子

以上、簡単ではありますが報告とさせていただきます、最後になりますが、会員皆様の益々のご健勝とご活躍をお祈り申し上げます。

(文責：小針 憲司)